

物流の未来を 担う学生へ

あなたの挑戦に、エールを送ります。



令和8年度(2026年度)

物流・ロジスティクス 奨学金募集要項



公益財団法人
鎌田記念財団
Kamata Memorial Foundation



-INDEX-

1.理事長挨拶		01
2.財団概要		02
3.募集要項		03
4.お問合せ		05

1. 理事長挨拶

物流・ロジスティクスの未来を担う人材育成のために

現代社会における物流・ロジスティクスの重要性は、単なる「モノを運ぶ機能」にとどまらず、あらゆる産業活動の根幹を支える社会的インフラとしての側面を有しています。国内外の経済活動が複雑化し、グローバル化が進展する中、サプライチェーン全体を見渡し、最適化を図る知見とスキルを持った人材の育成は、日本の競争力を維持・強化するうえで不可欠な要素となっています。一方で、急速な技術革新やデジタル化が進む現在、物流分野においてもDX（デジタルトランスフォーメーション）対応やAI、IoT、ビッグデータといった先端技術の導入が急務とされるなど、学際的かつ実践的な専門知識を有する人材への需要が高まっています。

これに対応するためには、大学・大学院レベルでの高度な学術的研究と教育が不可欠であり、物流・ロジスティクスを学ぶ学生への支援が今まさに求められています。しかしながら、こうした分野を志す意欲ある学生の中には、経済的な事情により進学や研究を諦めざるを得ないケースも見られます。特に、私立大学や大学院に進学する際の学費や生活費の負担は大きく、優秀な人材が機会を得られずに埋もれてしまうことは、社会全体にとっても大きな損失です。

このような背景を踏まえ、当財団は、物流・ロジスティクス分野に関心を持ち、学術的・実践的に探究する国内の四年制大学生および大学院生に対し、奨学金を給付することで、その学びと成長を後押しすることを目的として設立致しました。この奨学金事業を通じ、我が国における物流産業の健全な発展と公共の福祉の増進に寄与することを目指し継続的に取り組んでまいります。

公益財団法人鎌田記念財団
理事長 鎌田 正彦

2. 財団概要

(1) 法人概要

法人名	公益財団法人鎌田記念財団
理事長	鎌田 正彦
設立年月日	令和7(2025)年8月19日 (令和8(2026)年1月21日 内閣総理大臣より公益法人に認定)
住所	〒106-0032 東京都港区六本木三丁目17番12号 朝日サテライト六本木802号室
URL	https://kamatamemorial.org

(2) 事業目的

当財団は、財団は、物流・ロジスティクス分野を志す国内の大学生・大学院生に対し、経済的理由で学びを断念することのないよう奨学金を支給し、次世代の産業を担う人材の育成と社会全体の発展に寄与することを目的とします。

(3) 役員等名簿

理事長	鎌田 正彦	SBSホールディングス株式会社 代表取締役社長
理事	小澤 常浩	公益財団法人令和環境財団 理事長
理事	青木 悠太	あおきクリニック 院長
評議員	岸野 一夫	株式会社未来塾 代表取締役
評議員	米田 光宏	株式会社ツナグループ・ホールディングス 代表取締役社長
評議員	武井 繁	HRソリューションズ株式会社 代表取締役
監事	腰越 達也	税理士法人青木会計

3. 物流・ロジスティクス専攻学生奨学金募集要項

1. 応募資格

当財団の奨学生となるものは物流・ロジスティクスを学ぶ四年制大学生および大学院生であり、次のいずれにも該当しなければならない。

(1) 日本国籍を有し、学資の援助をすることが必要であると認められる者

(2) 将来社会的に有益な活動を目指す者

(3) 学業成績が優秀であること(下記に該当すること)

- ・在校生の場合、大学・専門学校入学時から直近までの学業成績において、GPA(平均成績)が2.4以上であること
- ・新入生の場合、高等学校等における評定平均が3.5以上であること
- ・高等学校卒業程度認定試験の合格者であること

(4) 下記のような物流・ロジスティクスに関する科目を履修できる学部・学科に在籍していること

主な物流・ロジスティクス関連の科目：Dロジスティクス特殊研究講義、IoTロジスティクス実践講座、Mロジスティクス研究1・2演習、Mロジスティクス研究1・2講義、SCM論(サプライチェーンマネジメント論)、グローバル・ロジスティクスⅠ・Ⅱ、グローバルロジスティクスと海運、グローバルロジスティクスと貿易、グローバルロジスティクス論12、サプライチェーン・マネジメント特論 など
★「経済学部」「経営学部」で、流通・サプライチェーン・国際経済・経営戦略等の関連分野を学ぶ学生も出願対象に含まれます。

2. 奨学金

給付額 : 年額 36 万円(返還義務はありません)

給付期間: 令和 8 (2026) 年 4 月～令和 9 (2027) 年 3 月

給付方法: 月額 3 万円の 12 ヶ月分(36 万円)を本人銀行口座に振り込みます。

3. 応募期間

出願受付: 令和 8 (2026) 年 7 月 15 日(水)～ 8 月 31 日(月)まで

一次選考: 書類審査

二次選考: 論文審査 (※状況に応じ面接を行う場合があります。)

<論文テーマ>『物流・ロジスティクス分野に進学した動機と、将来の夢・目指す職業像について』

(論文には、①なぜ物流・ロジスティクスを専攻する学校へ進学したのか、②将来の夢及び目指す職業について、具体的に記載するようにしてください。論文は800字程度です。)

※二次選考の詳細は一次選考通過者のみにご案内いたします。

4. 採用者数

採用予定人数は27名を上限とします。

採用の結果は、志願者へお知らせ致します。但し、学校を経由して出願があった場合に限り、選考結果は学校にも通知致します。

5. 応募方法

(1)HPからの出願

- STEP1 当財団HPの募集要項へ / <https://kamatamemorial.org>
- STEP2 Googleフォームより出願事項の入力し、「6.応募書類」をアップロード
- STEP3 出願完了メールを受信したら奨学金出願の受付は完了になります。

(2)願書の提出による出願(メール・郵送の場合)

- STEP1 当財団HPの募集要項へアクセスし願書をダウンロード
- STEP2 願書(Excel)に志願者情報及び書類審査事項を入力
- STEP3 【郵 送】応募書類一式を下記の住所宛に送付ください。

〒106-0032 東京都港区六本木三丁目17番12号

朝日サテライト六本木802号室

公益財団法人鎌田記念財団 事務局宛

※学校で取りまとめて出願される場合、出願方法は当財団HPの募集要項をご参照ください。

6. 応募書類

- 1.願書(顔写真貼付)もしくは家族状況届 ※様式は当財団Hよりダウンロード
- 2.学生証のコピー
- 3.収入を証明できる書類(家計支持者の前年度分の源泉徴収票など)
- 4.成績証明書(出願受付期間内に発行されたもの)
- 5.下記の書類のうち該当するもの

- ・標準化GPA計算書(在校生/直近の学歴が大学等の新入生)
- ・学習成績の状況計算書(高校卒業後の新入生)
- ・高等学校卒業程度認定試験合格証明書(新入生で該当する場合)

※ファイル名には必ず志願者名を入力してください。(例)家族状況届(物流 太郎)

出願受付 **令和 8 (2026)年 7 月 15 日(水)～ 8 月 31 日(月)** 当日必着

7. 一時選考基準

- ・学業成績にて優秀な成績を収めているか
- ・願書に基づき当財団の奨学金制度に志願した理由並びに品行等
- ・家計及び世帯状況

※選考内容の詳細はお答えできかねますのでご了承ください。

8. 結果通知

選考結果については、当財団事務局から文書にて通知します。応募書類は返却できません。なお、応募書類に記載されている個人情報、個人情報保護に関する法律の趣旨に基づき、厳重に管理します。

■ 合格後提出書類

合格となった場合、奨学金受領指定書及び預金通帳等振込先が確認できるもののコピーを提出いただきます。

- ・奨学金受領指定書
- ・預金通帳の店番号、口座番号掲載部分のコピー

9. 奨学生の義務

■ 終了報告書

受給期間が終了したときは、終了後 1 か月以内に、終了報告書(指定書式)を提出して下さい。終了報告書の提出がない場合は、給付済み奨学金の一部または全額の返還を求めることがあります。

10. 奨学金の停止・打ち切り

奨学生が次のいずれかに該当した場合は、奨学金を停止又は打ち切ることがあります。

- (1) 傷病のため成業の見込みがないとき。
- (2) 素行が不良となったとき。
- (3) 奨学金を必要としなくなったとき。
- (4) 奨学金の使途が適当でないとき。
- (5) 休学が適当でないとき。
- (6) 退学したとき。
- (7) 在学学校で処分を受けたとき。
- (8) 願書ならびに届出の内容に虚偽があったとき。
- (9) その他応募資格に定める奨学生としての資格を失ったとき。

4. お問い合わせ

一般財団法人鎌田記念財団 事務局

〒106-0032

東京都港区六本木三丁目17番12号 朝日サテライト六本木802号室

MAIL: info@kamatamemorial.org

URL : <https://kamatamemorial.org>



公益財団法人
鎌田記念財団
Kamata Memorial Foundation



あなたの挑戦が、物流の未来を育てます



物流・ロジスティクス専攻生奨学金事業に関する Q & A

下記がよくある質問になります。ご参考のほど宜しくお願い致します。

1.応募につきまして

Q1.応募は学生本人からではなく、学校で取りまとめることは可能でしょうか？

A1.可能です。但し、選考は個人単位で行います。

Q2.学校でまとめて応募した場合、採否の結果は学校宛に届きますか？

A2.原則は志願者宛にお送りいたしますが、学校でまとめて応募いただいた場合、学校宛に採否の結果をお知らせいたします。

Q3.各学科上限 1 名の応募になりますか？

A3. 上限は 1 名ではございません。何名でもお申込みいただけます。

Q4.物流・ロジスティクス関連学科とは具体的にどのような学科でしょうか？

A4. 物流の計画、輸送、保管、在庫管理、情報システムの活用、サプライチェーンマネジメント、ICT・AI・IoTを活用した物流最適化、スマート物流の研究等をするための技術や知識を習得する科目が履修できる学科になります。

※上記は一例であり、**経済学部・経営学部において流通・サプライチェーン・国際経済・経営戦略等の関連分野を学ぶ学生も、出願対象**に含まれます。

Q5.受給期間中に休学して留学を予定していますが応募できますか？

A5.受給期間中に休学しての留学の場合、受給期間すべてに在籍しているとみなされないためご応募はいただけません。

Q6.日本学生支援機構の給付奨学金を受給している学生でも申し込めますか？

A6.当財団の奨学金は併用を認めておりますので可能です。但し、日本学生支援機構以外の奨学金を受給している場合、それぞれの受給元の団体等に併用が可能かご確認ください。

Q7.国籍・年齢制限はありますか？

A7.応募資格にあるように当財団の奨学生は日本国籍を有する方を対象とさせていただいております。また物流・ロジスティクス関連学科のある大学に通学する方であれば年齢は問いません。

Q8.系列校（他学科）にも募集要項を共有しても良いでしょうか？

A8.物流・ロジスティクス関連の学校及び学科であれば可能です。

Q9. 物流・ロジスティクス関連学科以外の学生は応募できますか？

A9.当財団の奨学金は物流・ロジスティクス関連学科の学生のみとなります。

2.応募書類につきまして

Q10. 標準化 G P A 計算書は、学校独自で用意してあるものを提出して良いでしょうか。

A10. 数値が確認できるものであれば学校で作成されているものを流用していただいても構いません。

Q11.大学での単位評価が 5・4・3 段階評価のいずれにも該当しないのですがどうすればよいでしょうか？

A11.お手数ですが事務局まで E-mail にてお問合せください。

Q12.成績証明書が開封無効となっているのですがどうしたら良いでしょうか？

A12.ご本人様で開封していただき、標準化GPA計算書もしくは学習成績の状況計算書を作成してください。

Q13.収入を証明できる書類はどのようなものを用意すればよいでしょうか？

A13.募集要項のページに掲載しております所得証明書類一覧をご参照ください。

Q14.提出する所得証明は誰の分が必要となりますか？

A14.志願者の世帯収入の生計維持者の証明書類をご提出ください。

Q15.志願者がアルバイトをして生計を維持している場合、生計維持者は志願者のみでよろしいでしょうか？

A15.志願者で構いません。志願者の所得に関する証明書類をご提出ください。

Q16.提出は郵送ですか？

A16.オンライン出願又は郵送にてご提出ください。

Q17.PDF への加工の仕方がわからないので画像で送っても良いですか？

A17.画像でお送りいただくと正しく記載事項の確認ができないため、画像での書類提出は不可とさせていただきます。PDF の加工ができない場合、Word、Excel などそのままの形でご提出いただくか、郵送でのご提出をお願いいたします。

3.選考につきまして

Q18.一次選考の結果はいつ頃教えていただけますか？

A18.ご応募状況によって変動することはございますが、令和8（2026）年9月中旬を目安に志願者に対し書面にて通知させていただきます。

Q19.選考は一次、二次で終了になりますか？

A19.選考状況に応じ面接を行う場合がございます。実施する場合はオンライン面接などの対応も検討し、学生個人に高額な費用負担を課せるやり方は取らない予定しております。

Q20.奨学金はいつ頃支給してもらえますか？

A20.選考の過程により前後は致しますが、令和8（2026）年10月頃を予定しております。